

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0288
施設名	愛光大和田保育園
施設所在地	東京都八王子市大和田町5-9-4
法人名	社会福祉法人 愛光学舎

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光（5歳児）

<テーマの設定理由>

普段の園庭遊び中に、白と黒の画用紙を地面に置いてみると、いつもと違うことに気付いた子どもたちが集まりだし、観察しだす様子があった。一通り違和感を楽しんだ後、画用紙に影が映ることを楽しみ始めた子どもたちだったが雲で太陽が隠れてしまい、影が見えなくなったことに不思議さを感じていた。

なぜ影が消えてしまったのか投げかけてみると空を探し雲で太陽が隠れてしまったことに気が付く様子が見られた。その後、また陽が出てきたので影遊びを楽しんでいった。ある程度遊んだ後、画用紙に触れてみると熱を持っていることに気付き、白画用紙と黒画用紙の温度が違うことに気付いた。なぜ温度が違うのか子どもたちと考えると「地面が冷たいからかな?」「両方ともおひさまに当たっているのに何でだろう?」と疑問が生まれていた。

## 2. 活動スケジュール

光を知ろう（5月15日）

水と光の屈折（8月25日）

カラーセロファンを使った光と影の遊び（9月1日）

影絵遊び（9月24日）

色々な光に触れてみよう（1月9日）

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

画用紙、プラスチックカップ、絵の具、水、ペットボトル、プロジェクター、カラーセロハン、懐中電灯、ペットボトル、スヌーズレンルームを常設（サンボックス、光る惑星ジュピター、ミルキーウェイダブル、アクアワイドEasy、安全ミラーパーテーション）

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

園庭にある画用紙に当たる陽ざしから光の不思議さを知る。影絵遊びでは、影を使ったシルエットクイズなどから影の不思議や光の不思議に興味や関心を持つ。水の中を光は通ることができるのか？子どもたちの考えを聞き「こうなるのではないか？」という予想を多く立て実際に検証していき結果を楽しむ。

水遊びの際に水が光を反射していることに気づき、楽しむ様子があったので、年長児を集めて光の実験遊びを行っていった。また、カラーセロハンを通して映る光の色や、影の色が変わることに気づき、不思議さや疑問を持つ。影の色が重なることで色が変わる楽しさを知る。

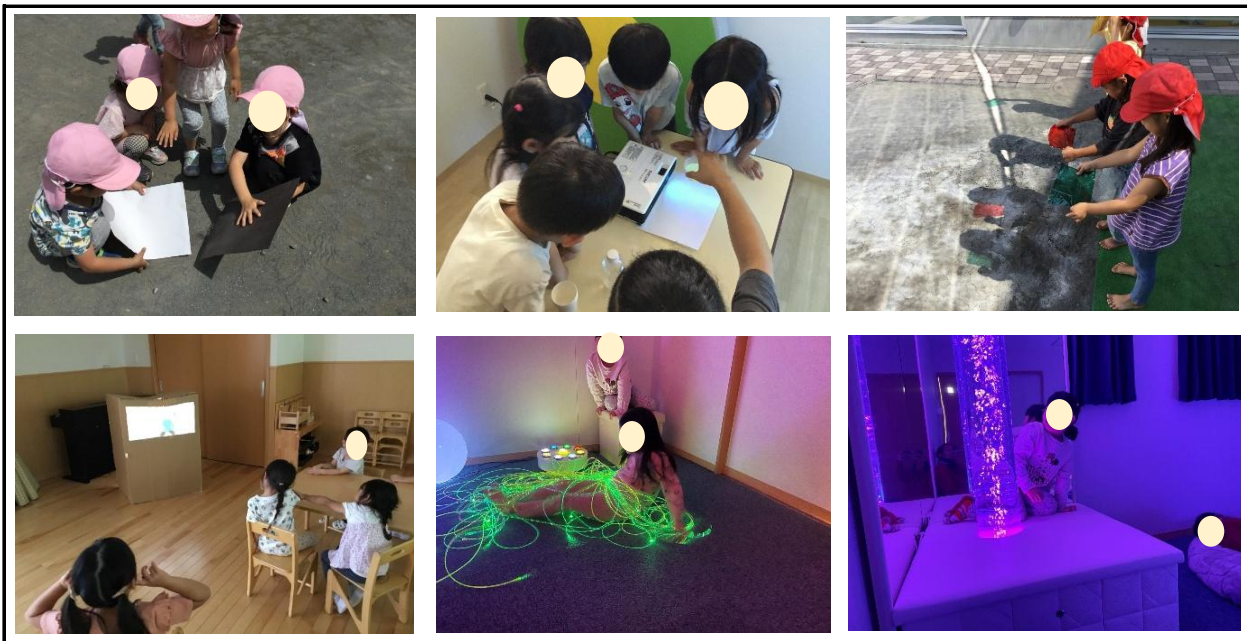
スヌーズレンルームにある光に触れたり、観察を楽しみながら、今まで経験してきた光との違いや新しい気づきなどを友だちと共有しあった。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子どもたち自身が実際に触れ、考え、自分の持っている知識を色々と組み合わせ、答えを考えようとする様子が見られた。影や熱と光が関係していることに気付くことで、影遊びや光の探求遊びにつながっていきそうだった。子どもたちの声を多く拾い「何故？・どうして？」の疑問を多く持てるようになっていった。影絵遊びではシルエットクイズをしながら影に興味を持てるようにしていった。子どもたちからもやってみたいという声があったのでクイズの出題者になってもらい、実際に影を作ってもらっていった。その後、影絵に色が付くものと付かないものの違いは何かを考えていくと、「薄さ」という意見が出たので実際に検証しながら考えていった。何度か繰り返している内に透明のものという言葉にたどり着いていった。その後自由遊びの中で取り入れていくと子どもたちも楽しそうに遊ぶ様子が見られた。

戸外での水遊びの際にカラーセロハンを渡し、日の光に当ててみるとどうなるかを実践していった。影の色がカラーセロハンの色になることに気が付くと、色々な場所で光を探し、影を楽しむ姿があった。「影の色を重ねると色はどうなる？」という疑問を投げかけてみると、子どもたちもすぐに実践していき色の変化、混色になることに気が付くことができていた。またカラーセロハンをたくさん重ねると黒色の陰になることに気が付いていた。また水遊びを行っていたこともあり、子どもたちがペットボトルの中にカラーセロハンを入れ、水を入れた後に日に当ててみるなど、自ら実験的な遊びを行う姿があった。水の中に入れることでカラーセロハンが動き、光に動きが見られることに気が付くと、友だちに教え一緒に光を楽しむ姿があった。カラーセロハンを懐中電灯に巻き付け光らせると、光の色が変わることを知り、色々な所に光を当て楽しむ姿があった。また、その中で映る場所は黒い所の方が色が鮮明に映ることに気が付くことができた。水と光の屈折では、水の中を光が通ることで光が曲がる不思議さを知る。色水に映る影の色を発見し、色々な場所で試す。影と影が重なることで色が変わることを知り色々な色と重ね合わせてみる。

スヌーズレンルームではアクアワイドEasyとミルクィウェイダブルの電飾がスイッチを押すことで、色が変わることに気が付く。様々な色に変えながらなぜ光の色が変わっているのかに疑問を持つ。答えは見つからなかったが興味や関心を持つ姿が見られた。青・白色は冷たいイメージ、赤・黄色は暖かいイメージなど、そこから光の色で感じる温度の違いや落ち着くなどの違いがあることに気が付いた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今まで行ったすくわくプログラムの活動（日光や懐中電灯、カラーセロハンを使った色の変化、影絵）から、今回の色々な光に触れてみようというテーマに持っていくことで、より色々な光があることに気が付くことができたのではないかと思います。

子どもたちから光の色で温度や心の安定に変化があることに気が付くことができたことに今年度の取り組みが子どもたちの探求心につながっていていることをうれしく思った。